

# 千年の森便り No.199

2020.2.27

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

2月16日(日) 雨 2月の定例活動日；活動中止

16日予定されていた定例活動は前日の予報で降水確率がほぼ100%だった上、強風の予報もあったので中止としました。1週間の順延も検討したのですが、年度末を控えて皆さん多忙につき調整が困難で、それも出来ませんでした。当日は予報通りに朝から降り始め日中一杯続いていましたから中止はやむを得なかったと思います。

2月24日(月、振替休日) 快晴 臨時活動

参加は秋元、新井、坂本の3名でそれぞれの目的に沿って、自由活動になりました。

秋元、新井コンビは植物調査と写真撮影に島へ入り、坂本は農地の手入れに集中しました。

朝からずっと別行動でしたが活動を終えて帰る時、秋元さんは期待していた物すべてを見られたと満足げな様子でした。(坂本)



快晴の千年の森(秋元)

## ○農地の手入れ

会員の皆様が活動に参加した際、何か持ち帰れる山の幸があれば良いとの思いで始めて見たものの、害獣被害が酷くて収穫は殆どありませんが、何か被害に遭わない作物は無いのか試行錯誤を続けています。今回は春の作付け準備



元肥に牛糞堆肥



雑草片付け畝づくり

の為、雑草の片付けと畝作り、更に牛糞堆肥を施しました。牛糞堆肥は佐倉市内の肉牛牧場にお問い合わせすれば無料で分けてもらえるものです。軽トラで運べる分量ですから300kg程度で、広い農地にばらまけば微々たるものです。

## ジャガイモを植えてみますか？

来月の活動日には里芋を収穫した後の空いた畝にジャガイモが植えられると思います。新しい品種が色々発売されていますから、試してみたい品種があれば、その種芋を持って来て自由に植え付けできます。種芋1kgとして2品種はOKでしょう。シカの食害に遭うか否かはやってみなければわかりません。持ち込みが無ければ定番の品種を植えます。

シカの食害を免れて、味も好評だった里芋は今年も新しい畝で作る予定です。(記事・画像とも坂本)

## ○春の兆し

臨時活動日の目的はスハマソウとヒメフタバラン、コセリバオウレンを撮影することでした。この種は北側斜面の水辺付近に分布していますので、吊橋を渡ってすぐ水辺に下り、反時計回りに島を一周することにしました。

例年2,3株しか見られなかったスハマソウの花が数メートル先からでもはっきりわかるほどに咲いていました。見つけた株は30株でそのうちの20株に花芽があり粗方の蕾は開いていました。白色のものが多い中、淡いピンク色



白のスハマソウ



ピンクのスハマソウ

をしたものが2株ありました。このピンク色の種をここで確認したのは初めてです。(注)ピンクのスハマソウは13年前の2007年2月24日、当時の高塚会員に撮影され、写真集「豊英島の自然」に掲載されています。

次に向かったのがヒメフタバランの分布している禁断の岬です。ここでは落葉が辺り一面に積もっていました。ところどころ見え隠れするヒメフタバランを覆っている落葉を払いのけると30株以上確認できました。その内10株ほどに蕾がついていました。開花したものはなかったようです。斑入りのものもあり楽しめました。ここには、3年前までコセリバオウレンが確認できましたが昨年姿を消しました。残念なことです。シカの食害でしょうか。また、この付近のがけはいつも湿っていたように記憶しておりましたが今回は乾いた状態になっておりました。数日前に雨が降ったはずなのですが乾いていました。がけ面にはイズノシマダイモンジソウがたくさんありましたが枯れた花序もなく花の名残は見られませんでした。ところどころに、小さな



ヒメフタバランの蕾



斑入りヒメフタバランの蕾



フデリンドウの花

フデリンドウがありましたが花はありませんでした。花は千年広場の荷物台の下に1株ありました。

崖から這い上がり観察路の脇にあるコショウノキを目指しました。途中、一匹のジムグリを見つけました。50cmから100cmぐらいでした。じっとしていましたが棒で刺激を与えるとスルスルと逃げていきました。コショウノキは金網の中で白い蕾をつけていました。

遅めの昼食を済ませ、ヒメコマツ保護柵の中に入り落葉に隠れた状態のシュンランの花芽を1株見つけました。開花にはまだ時間



シュンランの蕾



コショウノキの蕾



ジムグリ

がかかりそうでした。

ここから、ホテイ岬方面に向かいましたが特に記述すべき花は見当たりませんでした。ただ、ホテイ岬から吊橋方向を見ると20羽ほどのキンクロハジロが水面に白黒の身体を輝かせ群れていました。

今回の臨時活動は、スハマソウの開花に合わせたように行われ、とてもよかったです。坂本さんには鳥の同定、新井さんには同行し



豊英湖の水面にキンクロハジロの群

て植物の同定と助言をいただき、実のある観察ができ、充実した一日になりました。(記事・画像とも秋元)

## お知らせ

### ○豊英島の自然（増補版）発刊のお知らせ

昨年5月の編集会議から約10か月、分担して原稿を作成し、編集作業を行ってきた豊英島の自然（増補版）が印刷作業に入っています。お楽しみに！（福島）